



2026 DISCLOSURE

2025年度(令和7年度)決算

ペットファースト&グレイス少額短期保険の現状



ペットファースト&グレイス
少額短期保険株式会社

Pets-first & Grace

2026 DISCLOSURE

CONTENTS

本誌は、「保険業法第272条の17において準用する保険業法第111条および同施行規則第211条の37」に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。

01 はじめに

- 1. 経営理念 4
- 2. ごあいさつ 5

02 コーポレートデータ

- 1. 会社概要 7
- 2. 沿革 7
- 3. 役員の状況 7
- 4. 株式の状況 8
- 5. 組織図 8
- 6. 拠点 8

03 取り組み(事業報告)

- 1. 2025年度における業務の概況 10
- 2. 販売商品・サービス 10
- 3. 「お客さま本位の業務運営基本方針」 11
- 4. お客さまの声への対応 11
- 5. 個人情報保護方針(プライバシーポリシー) 12
- 6. 勧誘方針 13
- 7. リスク管理の態勢 14
- 8. 法令等遵守態勢 14
- 9. 指定少額短期保険業務紛争解決機関(指定ADR機関) 14

04 業績データ

- 1. 直近3事業年度における主要な業務の状況を示す指標 16
- 2. 直近2事業年度における業務の状況等を示す指標等 16
- 3. 経理の状況 23

01

はじめに

1. 経営理念
2. ごあいさつ

01 はじめに

01-1 経営理念

私たちはペットを最優先に考えます

Pets always come first

私たちはペッツファーストグループの一員として、「ペットを最優先」に考えます。

私たちは、大切な「命」をお預かりされたお客さまがペットの健康を最優先に考え、

最良の医療をお受けいただけるペット保険を提供し、

保険事業を通じてすべてのペットとお客さまが幸せな時間を共有できる社会の実現を目指します。

1.Our graceful product&service

私たちは、ペットとご家族に優しく寄り添い、

病気やケガをしてしまったペットが最良の医療を安心して受けられるようペット保険を提供してまいります。

2. Our pet

私たちは、動物医療の動向を常に注視し、

ペットのウェルネスを高めるとともに、最適な補償が何なのかを考えペット保険の開発を続けます。

3.Our customer

私たちは、契約のお申し込みや保険金のご請求を始めとした手続きや業務のデジタル化を進めて利便性を高めるとともに、

ペットを愛するお客さまと心が通う業務運営を行っていきます。

4.Our staff

私たちは、共に働く仲間を大切に一人ひとりの多様性を尊重し、

ペッツファーストの理念に共感するすべての人の心を大切にします。

5.Our company

私たちは、ペッツファーストグループの一員として法令等を遵守するとともに、

徹底した業務の効率化を図ることで得た収益は、常にペットとお客さまに革新的で、高品質なサービスへ還元します。

6.Our society

私たちは、動物福祉の考えに基づく社会貢献活動に積極的に参画するとともに、

保険事業を通じてペットの命を守り、ペットとお客さまが共に幸せに生きる豊かな社会の実現を目指していきます。

01-2 ごあいさつ

平素より、皆さまにおかれましてはペットファースト&グレイス少額短期保険をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当社の経営方針、事業概要、財務状況などをご説明する2025年度のディスクロージャー誌を作成いたしました。本誌が、当社をよりご理解いただく一助になれば幸いに存じます。

当社は、大切な「命」を扱う企業グループであるペットファーストグループの一員として、常にペットを最優先に考え、すべてのワンちゃん、ネコちゃんが生涯を全うできる社会の実現を志しています。

昨今、ペットの病気やケガに対する医療は高度化すると共に治療費は高額化の傾向にあります。ペットオーナーの皆さまが安心して豊かなペットライフを送り続けるためには、ペットの医療費補償となるペット保険へのニーズはますます高まり、欠かせないものとなると考え、当社は、すべてのペットオーナーとペットに対して、社名に冠したグレイス（慈愛に満ちた）な思いで寄り添ってまいります。

当社が提供するペット保険（愛称：ペットファーストほけん）プラン100は、ペットオーナーの自己負担を軽くするために、年間支払限度額までの補償割合を100%とし通院・入院・手術の利用回数や日数に制限を設けず、また年間の利用限度額も180万円と大きく設定しているのが特徴です。

ペットファーストグループは、ペットの販売と動物病院事業を主要事業として営んでおり、販売したペットの傷病データや医療データをグループで蓄積し、将来の傷病予防や治療技術の革新に活用するなどのグループシナジー効果を発揮して、引き続きペットオーナーの皆さまの安心で豊かなペットライフに寄与できる保険商品開発を進めてまいります。また、昨年6月にペットファーストグループがアー克蘭ズグループの一員となりましたことから業容は大きく拡大しており、アー克蘭ズ企業グループの一員としてより一層の成長が期待できるものと考えております。

2026年7月
ペットファースト&グレイス少額短期保険株式会社

代表取締役社長 武藤 正典

02

コーポレートデータ

1. 会社概要
2. 沿革
3. 役員の状況
4. 株式の状況
5. 組織図
6. 拠点

02 コーポレートデータ

02-1 会社概要 (2026年7月現在)

社名： ペッツファースト&グレイス少額短期保険株式会社
本社所在地： 東京都目黒区目黒1-24-12
資本金： 427,500千円(資本準備金417,500千円)
従業員数： 21名
代理店数： 1店

02-2 沿革

2022年 9月1日 PF少額短期設立準備株式会社設立
2025年 1月14日 少額短期保険業者として関東財務局に登録
[関東財務局長(少額短期保険) 第118号]
2025年 1月16日 ペッツファースト&グレイス少額短期保険株式会社に社名変更
2025年2月27日 ペット保険「ペッツファーストほけん」販売開始

02-3 役員の状況 (2026年7月現在)

役職名	氏名
代表取締役社長	武藤 正典
取締役	山内 一洋
取締役	田久保 高志
取締役	宮崎 清
社外取締役	舩橋 晴雄
社外監査役	神立 賢治
社外監査役	渡部 善平
監査役	佐伯 昇

02-4 株式の状況(2026年7月現在)

1. 株式数

発行可能株式の総数： 20,000株

発行済株式の総数： 16,900株

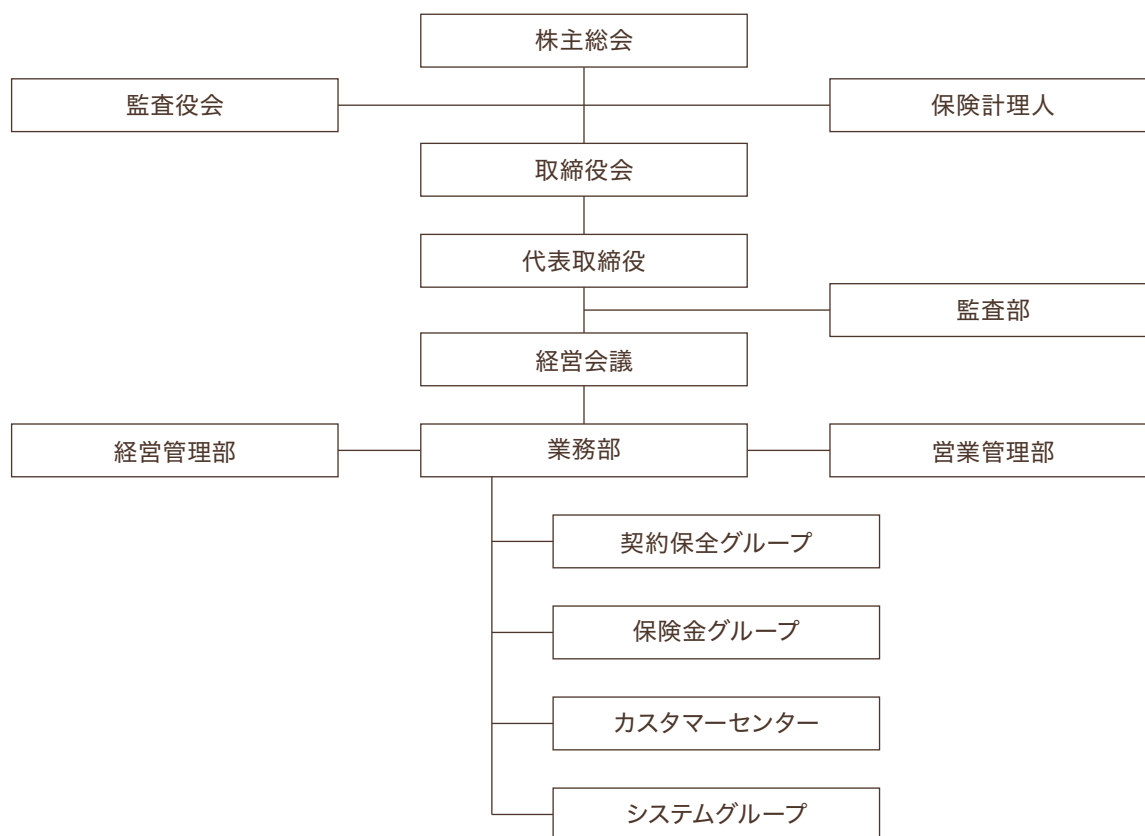
2. 株主数

株主数： 2名

3. 株主

株主	保有株数	保有割合
ペットファーストホールディングス株式会社	16,700株	98.8%
MPアグロ株式会社	200株	1.2%

02-5 組織図



02-6 拠点

本社：東京都目黒区目黒1-24-12

※支社や営業所はありません。

03

取り組み（事業報告）

1. 2025年度における業務の概況
2. 販売商品・サービス
3. 「お客さま本位の業務運営基本方針」
4. お客さまの声への対応
5. 個人情報保護方針（プライバシーポリシー）
6. 勧誘方針
7. リスク管理の態勢
8. 法令等遵守態勢
9. 指定少額短期保険業務紛争解決機関（指定ADR機関）

03 取り組み(事業報告)

03-1 2025年度における業務の概況

当社は、ペットファーストホールディングス株式会社のもと、2022年9月にPF少額短期設立準備株式会社として設立されました。2025年1月14日関東財務局長より少額短期保険業者として登録され、社名を「ペットファースト&グレイス少額短期保険株式会社」に商号変更し、一般社団法人日本少額短期保険協会への加入を経て、2025年2月27日より営業を開始しました。

前期(2024年度)は営業開始約1か月で新契約件数992件(成立ベース)でしたが、当期(2025年度)は初の通年営業年度として本格的に事業を展開し、新契約件数12,528件と大幅に業容を拡大しました。

一方、当期は損害率が開業当初の想定を上回って推移したこと、また代理店の販売方針の変更により2026年2月より保険募集店舗が縮小するなどの想定外の状況が生じました。2026年度は損害率の改善と契約継続率の向上に重点を置いて取り組んでまいります。

03-2 販売商品・サービス

グループ会社の一員であるペットファースト株式会社を募集代理店としてペット保険商品を販売しております。2種類のプランをご用意し、お客さまにご好評をいただいております。

ペット保険

特長

1. お迎えしたその日から補償が受けられます
2. 100%補償、年間最大180万円まで補償が受けられます(プラン100の場合)
3. 通院・入院・手術の日数(回数)の制限がありません
4. 時間外診療費も補償が受けられます
5. FIPの治療費も補償が受けられます

充実した選べる2つの補償プラン

プラン	プラン100	プラン70α
補償割合	100%	70%(1か月目は100%)
通院保険金 支払限度額	1日あたり 20,000円まで	1日あたり14,000円まで (1か月目は20,000円まで)
入院保険金 支払限度額	1日あたり 30,000円まで	1日あたり21,000円まで (1か月目は30,000円まで)
手術保険金 支払限度額	1回あたり 50万円まで	1回あたり35万円まで (1か月目は1回あたり50万円まで)
年間支払 限度額	180万円	126万円

サービス

1. マイページのご登録により、契約内容の確認・各種手続き等が24時間365日いつでもどこでも可能です
2. 保険金請求方法を3通りご用意
 - (1) ペッツファースト動物病院で窓口精算(当日精算)
 - (2) WEBで保険金のご請求(後日精算)
 - (3) 郵送による保険金のご請求(後日精算)

03-3 「お客さま本位の業務運営基本方針」

当社は、真にお客さまに信頼される会社を目指し、日々「お客さまの声」を真摯に受け止め、提供するサービスや業務品質の向上に努めています。当社はお客さまに寄り添い、多様化するニーズを鋭敏に捉えながら、「お客さま本位」の保険事業をより徹底していくために、以下の「お客さま本位の業務運営基本方針」を策定しています。

お客さま本位の業務運営基本方針

1. お客さまへの安心の提供と満足度の向上

当社は、ペッツファーストグループの経営理念である「Pets always come first」のもと、お客さまとペットによりそい、常にサービスの改善や商品開発などの品質の向上を行い、お客さまとペットの「最良の安心と満足」の提供に努めてまいります。

2. 保険金の迅速なお支払い

当社は、病気やケガをしてしまったペットが最良の医療を安心して受けられるよう、常に動物病院の動向を注視し、ペットのウェルネスの向上を図るとともにお客さまへの保険金の迅速なお支払いを行ってまいります。

3. お客さまへの適時・適切な情報の提供

当社は、当社が提供する商品やサービスについて、お客さまの真のご理解につながるよう丁寧な説明を行うとともに、そのリスクや不利益となる情報等の重要な事項について、お客さまの利益が不当に害されることがないように、その特性を踏まえわかりやすくご説明をいたします。

4. お客さまの利益を不当に害さないための適切な対応

当社は、お客さまの利益が不当に害されることがないように、利益相反のおそれのある取引について常に適切な把握・管理を行い、コンプライアンス意識の高い組織整備を図ってまいります。

5. 高い専門性と職業倫理を持つ知識豊富な人材の育成

当社は、お客さまの多様なご要望やサービスにお応えできるよう、当社社員をはじめ保険募集代理店の募集人に対し研修等による人材育成を図り、高い専門性と職業倫理を持った従業員を育成し、お客さまの満足度向上に向けた組織の醸成を行ってまいります。

6. お客さまの最善の利益の追求

当社は、お客さまお一人おひとりの立場に立ち、お客さまが真に求める補償・サービスを丁寧にお届けすることで、お客さまの真のニーズにあった最善の商品を提供し、ペットを最優先とすご家族の安心と幸せを実現してまいります。

当方針に関する取り組み状況等については、当社ホームページ(https://www.pfirst-grace.co.jp/invitationpolicy.html#fiduciary_duty)をご参照ください。

03-4 お客さまの声への対応

当社は、お客さま等からの申し出のうち、当社商品・サービス等に対する不満足の原因を苦情として定義し、適切かつ迅速に対応し解決を図るとともに、お客さま等の声を的確に把握し、経営および業務運営の改善に反映させることにより、保険契約者等の保護および利便性の向上を推進し、ひいては当社の健全かつ適切な業務運営遂行に役立てています。

お客さま対応窓口

当社は、カスタマーセンターを設け、お客さまからのお問い合わせ、ご相談、苦情等を受け付けています。

カスタマーセンター

電話番号 0120-202-025

受付時間 10:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）

メールアドレス customer@pfirst-grace.co.jp

カスタマーハラスメントへの対応

当社では、お客さま対応における従業員の安全確保および適正な業務運営の観点から、カスタマーハラスメントへの対応方針を定めています。不当な要求や社会通念上相当性を欠く言動に対しては、組織的に対応するとともに、必要に応じて外部機関とも連携し、従業員の保護および業務の適正確保に努めてまいります。

03-5 個人情報保護方針(プライバシーポリシー)

当社は、個人情報の保護が個人の生命・身体・財産の安全に関わる重要な問題であることを深く認識し、個人の権利・利益の保護およびお客さまの信頼を第一に考え、法令・ガイドライン等を遵守して、機密性・正確性を保持する等、個人情報を適正に取り扱ってまいります。

1. 個人情報の利用目的

当社は、個人情報を以下の目的を達成するために必要な範囲にのみ利用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

- (1) 保険契約のお引き受け、ご継続・維持管理、保険金等のお支払い
- (2) 当社業務に関する情報提供および市場調査・データ分析やアンケート等による保険商品・サービスの開発
- (3) 当社グループ会社・提携会社とその関連会社および当社代理店の各種商品・サービスのご案内・提供
- (4) その他保険業務に関連・付随する業務並びにお客さまとのお取引および当社の業務運営を適切かつ円滑に履行するために行う業務

2. 取得・保有する個人情報の種類

取得・保有する個人情報は、氏名、住所、電話番号、性別、生年月日、電子メールアドレス等、利用目的を達成するために必要な情報です。

3. 個人情報の取得方法

当社は、業務上必要な範囲内で、かつ適法で公正な手段により個人情報を取得します。

当社は、主に保険契約のお申し込みや保険金請求時もしくはアンケートやキャンペーン等の実施により個人情報を取得します。また、お客さまからの各種問い合わせやご相談を通じて個人情報を取得することがあります。

4. 個人情報の第三者への提供

当社は、次の場合を除き、個人情報および個人データを第三者に提供いたしません。

- (1) あらかじめ本人の同意を得た場合
- (2) 個人情報保護法、マイナンバー法、その他の法令に基づく場合
- (3) 当社の業務遂行上必要な範囲で業務委託先に提供する場合
- (4) 再保険を利用する場合
- (5) 他の少額短期保険会社または損害保険会社との間で共同利用を行う場合

5. 個人情報の共同利用

当社は、上記「個人情報の利用目的」を実現するために、当社グループ会社との間で、以下の個人情報を共同利用することがあります。共同利用する個人情報の項目：住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、性別、生年月日、飼育するペットに関する情報（診療歴を含む）、申込時の契約内容およびご利用サービスの内容・履歴等、お取引・サービスの提供に関連して取得した情報およびその他利用目的の達成のために必要な情報

6. 個人情報の安全管理措置

当社は、個人情報の漏洩・滅失・き損または不正アクセスの防止、その他個人情報の安全管理のために、適正な情報セキュリティを確立し、必要かつ適切な措置を講じてまいります。

7. 機微(センシティブ)情報のお取り扱い

当社は、お客さまに関する人種・信条・門地・本籍地・保険医療または犯罪経歴についての情報、その他の非公開情報（以下、「機微(センシティブ)情報」という）については、金融分野における個人情報保護に関するガイドライン第5条第1項に基づき、当社業務の適切な運営の確保その他必要と認められる目的以外には取得・利用または第三者に提供を行いません。

8. 特定個人情報のお取り扱い

当社は、マイナンバー法に定められている個人番号および特定個人情報は、同法で限定的に明記された目的以外のために取得・利用しません。また、第三者への提供および共同利用も行いません。

9. 保有個人データの開示、訂正、利用停止、消去等のご請求

保有個人データについて、個人情報保護法に基づく開示、訂正、利用停止、消去等のご請求があった場合、請求者がご本人であることを確認させていただいたうえで、業務の適正な実施に著しい支障をきたす等の特別な理由のない限り速やかに対応いたします。

03-6 勧誘方針

当社は、各種法令および社会的ルール等を遵守し、次の方針に基づき、お客さまの視点に立った適正な勧誘を行い、ご満足いただけるよう努めてまいります。

勧誘方針

1. 保険商品の販売、各種対応について

- (1) お客さまの保険商品に関する知識、ご経験、ご契約の目的等を踏まえ、保険商品の特性に応じて必要な事項を考慮し、お客さまのご意向や実情に沿った保険商品の説明および提供に努めます。
- (2) お客さまにご迷惑となる時間帯・場所・方法による勧誘は行いません。
- (3) 保険商品の重要事項についてお客さまに正しくご理解いただけるように努めるとともに、十分にご納得いただいたうえで、ご契約いただけるよう努めます。
- (4) 万一、保険事故が発生した場合の保険金のお支払いについては、ご契約の内容に基づき、迅速かつ的確に手続が行われるよう努めてまいります。
- (5) お客さまからのご意見やご要望等をお伺いし、保険商品の開発および提供の参考とするとともに、適正な営業活動の向上に役立ててまいります。

2. 各種法令を遵守し、保険商品の適正な販売に努めます

- (1) 保険業法、金融サービスの提供に関する法律、消費者契約法、個人情報の保護に関する法律、その他の関係法令等を遵守します。
- (2) お客さまのプライバシーを尊重し、お客さまに関する情報については適正に取り扱うとともに、厳重に管理します。
- (3) 適正な業務運営を確保するため、社内体制の整備および販売に携わる者への研修に取り組みます。

03-7 リスク管理の態勢

当社では、リスク管理が最重要課題であると認識し、取締役会でリスク管理基本方針を定め、当社を取り巻くあらゆるリスクについて、議論を行うこととしています。また、当社に影響を及ぼすリスクを「保険引受リスク」、「流動性リスク」、「システムリスク」、「事務リスク」、「資産運用リスク」、「その他リスク」とし、リスク毎に管理規程を定め、各種リスクの管理部門より、リスク管理状況について取締役会に定期的に報告を行っています。

反社会的勢力への対応

当社は、適切かつ健全な保険業務等を行うにあたり、反社会的勢力を社会から排除することが大きな役割であると考え、「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」等を遵守しています。また、「反社会的勢力に対する対応および取引時確認に関する規程」を制定し、反社会的勢力との関係遮断にあたっては、警察当局や弁護士等とも連携して対応にあたり、反社会的勢力に関するさまざまな情報を収集し、契約申込の際や名義変更、保険金支払等の際に厳重にチェックを行うなどで排除態勢を構築し、常に新しい情報を蓄積しつつ、定期的なチェックの強化に努めています。

当社では、保険業務としての健全性・公平性の確保およびお客さまと従業員の安全確保のため、暴力団、暴力団関係者、総会屋などの反社会的勢力の排除に向けた体制を整備するとともに、組織的な対応を行うことによりこれら勢力と一切の関係を遮断します。

03-8 法令等遵守態勢

当社では保険会社としての社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスを経営上の最重要課題の一つとして位置付け、「コンプライアンス基本方針」および「コンプライアンス規程」を制定しています。また、全役職員と、代理店・募集人へ「コンプライアンス・マニュアル」を配布するとともに、「コンプライアンス・プログラム」に従って、定期的に開催するコンプライアンス研修会を通じ周知徹底を図っています。

03-9 指定少額短期保険業務紛争解決機関(指定ADR機関)

当社は、指定少額短期保険業務紛争解決機関である一般社団法人 日本少額短期保険協会との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続および紛争解決手続等の実施のための手続実施基本契約を締結しております。指定少額短期保険業務紛争解決機関では、ご契約者さまをはじめ、一般消費者の皆さまからの少額短期保険全般に関するご相談・ご照会への対応や苦情対応・紛争解決を行います。

一般社団法人 日本少額短期保険協会 少額短期ほけん相談室

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目12番8号 HF八丁堀ビルディング2F

TEL 0120-82-1144(通話料無料)

[通常受付日・受付時間]

月曜日～金曜日(祝日・年末年始休業期間を除く)9:00～12:00 / 13:00～17:00

<https://www.shougakutanki.jp/general/index.html>

04

業績データ

1. 直近3事業年度における主要な業務の状況を示す指標
2. 直近2事業年度における業務の状況等を示す指標等
3. 経理の状況

04 業績データ

04-1 直近3事業年度における主要な業務の状況を示す指標

2025年度は、「ペットファーストほけん」の初の通年営業年度として本格稼働した結果、経常収益は保険料収入等の合計601,572千円となりました。一方、保険金等支払金、責任準備金等繰入額、事業費等の経常費用合計927,435千円となったため、経常損失325,862千円、当期純損失326,152千円という事業収支となりました。

(単位:千円)

項目	2023年度	2024年度	2025年度
経常収益	—	28,802	601,572
経常利益(又は経常損失)	—	△184,435	△325,862
当期純利益(又は当期純損失)	—	△184,764	△326,152
資本金の額	—	352,500	427,500
発行済株式の総数	—	13,900	16,900
保険業法上の純資産額	—	428,249	269,964
純資産額	—	427,393	251,240
総資産額	—	480,777	449,677
責任準備金残高	—	16,733	117,864
有価証券残高	—	—	—
ソルベンシー・マージン比率	—	19,297.5%	475.4%
配当性向	—	—	—
従業員数	—	14名	19名
正味収入保険料の額	—	28,551	595,558

※2024年度以前の数値は、開業費・創立費および繰延税金資産に関する過年度修正再表示後の数値。

04-2 直近2事業年度における業務の状況等を示す指標等

1. 主要な業務の状況等を示す指標等

(1) 正味収入保険料

(単位:千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	28,551	595,558
合計	28,551	595,558

※正味収入保険料とは、当社元受における保険料の収入から、解約返戻金等および当社を契約者とする再保険契約により当社が支払った再保険料を控除したものをいいます。

正味収入保険料=保険料-解約返戻金等-(再保険料-再保険返戻金-その他再保険収入)

(2) 元受正味保険料

(単位:千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	28,551	595,558
合計	28,551	595,558

※元受正味保険料とは、当社元受における保険料の収入から、解約返戻金およびその他返戻金を控除したものをいいます。

元受正味保険料=保険料-解約返戻金-その他返戻金

(3) 支払再保険料

該当事項はありません。

(4) 保険引受利益

(単位:千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	△178,120	△309,593
合計	△178,120	△309,593

※2024年度の数値は、開業費・創立費および繰延税金資産に関する過年度修正再表示後の数値。

※保険引受利益とは、保険引受収益から保険引受費用と保険引受に係る営業費および一般管理費を控除し、その他の収支(保険引受に係るもの)を加味したものをいいます。

保険引受利益＝保険料等収入－(保険金等支払金＋責任準備金等繰入額＋保険引受に係る事業費)＋その他収支(保険引受に係るもの)

(5) 正味支払保険金

(単位:千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	1,107	283,690
合計	1,107	283,690

※正味支払保険金とは、元受契約の支払保険金から出再契約における回収再保険金を控除したものをいいます。

正味支払保険金＝保険金等－回収再保険金

(6) 元受正味保険金

(単位:千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	1,107	283,690
合計	1,107	283,690

※元受正味保険金とは、元受契約の支払保険金から元受保険金戻入を控除したものをいいます。

(7) 回収再保険金

該当事項はありません。

2. 保険契約に関する指標

(1) 契約者配当金の額

該当事項はありません。

(2) 正味損害率、正味事業費率およびその合算率

(単位:%)

種目・年度	2024年度			2025年度		
	正味 損害率	正味 事業費率	合算率	正味 損害率	正味 事業費率	合算率
ペット保険	3.9	676.2	680.1	47.6	83.5	131.1
合計	3.9	676.2	680.1	47.6	83.5	131.1

※正味損害率＝正味支払保険金÷正味収入保険料×100

※正味事業費率＝正味事業費÷正味収入保険料×100

※正味合算率＝正味損害率＋正味事業費率

(3) 出再控除前の元受発生損害率、元受事業比率およびその元受合算率

(単位: %)

種目・年度	2024年度			2025年度		
	元受発生損害率	元受事業費率	元受合算率	元受発生損害率	元受事業費率	元受合算率
ペット保険	25.2	1523.2	1548.4	63.2	97.1	160.1
合計	25.2	1523.2	1548.4	63.2	97.1	160.1

※元受発生損害率＝発生損害額÷既経過保険料×100

※元受事業費率＝事業費÷既経過保険料×100

※元受合算率＝元受発生損害率＋元受事業費率

(4) 出再先保険会社の数と出再保険料の上位5社の割合

該当事項はありません。

(5) 支払再保険料の格付ごとの割合

該当事項はありません。

(6) 未収再保険金の額

該当事項はありません。

3. 経理に関する指標等

(1) 支払備金

(単位: 千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	2,090	42,436
合計	2,090	42,436

(2) 責任準備金

(単位: 千円)

種目・年度	2024年度	2025年度
ペット保険	16,733	117,864
合計	16,733	117,864

(3) 利益準備金および任意積立金の区分ごとの残高

該当事項はありません。

(4) 損害率の上昇に対する経常利益または経常損失の額の変動

(単位: 千円)

損害率の上昇シナリオ	発生損害率が1%上昇すると仮定します。	
計算方法	・増加する発生損害額＝既経過保険料×1% ・経常利益の減少額＝増加する発生損害額	
	2024年度	2025年度
経常利益の減少額	127	5,122

4. 資産運用に関する指標等

(1) 資産運用の概況

(単位:千円)

項目・年度	2024年度		2025年度	
	金額	構成比	金額	構成比
預貯金	367,882	76.5%	281,162	62.5%
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
運用資産計	367,882	76.5%	281,162	62.5%
総資産	480,777	100%	449,677	100%

(2) 利息配当収入の額および運用利回り

(単位:千円)

項目・年度	2024年度		2025年度	
	金額	利回り	金額	利回り
預貯金	251	0.0%	578	0.0%
金銭信託	—	—	—	—
有価証券	—	—	—	—
合計	251	0.0%	578	0.0%

(3) 保有有価証券の種類別の残高および合計に対する構成比

該当事項はありません。

(4) 保有有価証券の種類別の利回り

該当事項はありません。

(5) 保有有価証券の種類別の残存期間別残高

該当事項はありません。

5. 責任準備金の残高の内訳

<2024年度>

(単位:千円)

種目	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金	当期末責任準備金
ペット保険	15,876	856	—	16,733
合計	15,876	856	—	16,733

<2025年度>

(単位:千円)

種目	普通責任準備金	異常危険準備金	契約者配当準備金	当期末責任準備金
ペット保険	99,140	18,723	—	117,864
合計	99,140	18,723	—	117,864

6. 株主資本等変動計算書

<2024年度>

(単位:千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
当期首残高	260,000	250,000	250,000	△82,843	△82,843	427,157	427,157
当期変動額							
新株の発行	92,500	92,500	92,500	—	—	185,000	185,000
当期純利益	—	—	—	△184,764	△184,764	△184,764	△184,764
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	92,500	92,500	92,500	△184,764	△184,764	236	236
当期末残高	352,500	342,500	342,500	△267,607	△267,607	427,392	427,392

※2024年度において借入金の株式化(Debt Equity Swap)を行い、当社親会社のベッツファーストホールディングス株式会社からの借入金75,000千円を資本金および資本準備金にそれぞれ37,500千円振り替えています。

<2025年度>

(単位:千円)

	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本余剰金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本 準備金	資本余剰金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
当期首残高	352,500	342,500	342,500	△267,607	△267,607	427,392	427,392
当期変動額							
新株の発行	75,000	75,000	75,000	—	—	150,000	150,000
当期純利益	—	—	—	△326,152	△326,152	△326,152	△326,152
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	75,000	75,000	75,000	△326,152	△326,152	△176,152	△176,152
当期末残高	427,500	417,500	417,500	△593,759	△593,759	251,240	251,240

7. ソルベンシー・マージン比率

(単位:千円)

	2024年度	2025年度
(A) ソルベンシー・マージン総額	428,249	269,963
①純資産の部合計(社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を除く。)	427,392	251,240
②価格変動準備金		
③異常危険準備金	856	18,723
④一般貸倒引当金		
⑤その他有価証券の評価差額(税効果控除前)(99%又は100%)	0	0
⑥土地含み損益(85%又は100%)	0	0
⑦契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)		
⑧将来利益		
⑨税効果相当額	0	0
⑩負債性資本調達手段等	0	0
告示(第14号)第2条第3項第5項イに掲げるもの(⑩a)		
告示(第14号)第2条第3項第5項ロに掲げるもの(⑩b)		
(B) リスクの合計額 $\sqrt{R1^2+R2^2}+R3+R4$	4,438	113,573
保険リスク相当額	2,154	110,148
R1 一般保険リスク相当額	2,154	110,148
R4 巨大災害リスク相当額	0	0
R2 資産運用リスク相当額	3,678	2,811
価格変動等リスク相当額	0	0
信用リスク相当額	3,678	2,811
子会社等リスク相当額	0	0
再保険リスク相当額	0	0
再保険回収リスク相当額	0	0
R3 経営管理リスク相当額	175	3,388
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A)/\{(1/2)\times(B)\}]\times 100$	19,297.5%	475.4%

ソルベンシー・マージン比率とは

- 少額短期保険業者は、保険事故発生の際の保険金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、少額短期保険業者が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(前ページの(B)に対する「少額短期保険業者が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額:前ページの(A))の割合を示す指標として、保険業法当に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(前ページの(C))です。
- 「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク): 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - ②資産運用上の危険(資産運用リスク): 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ③経営管理上の危険(経営管理リスク): 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～②および④以外のもの
 - ④巨大災害に係る危険(巨大災害リスク): 通常の予測を超える巨大災害(大規模地震や巨大台風等)により発生し得る危険
- 「少額短期保険業者が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、少額短期保険業者の純資産、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地含み益の一部等の総額です。
- ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が少額短期保険業者を監督する際に活用する客観的な判断指標の1つですが、その数値が200%以上であれば、「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。当社は引き続き健全な財務基盤の維持に努めてまいります。

8. 時価情報等(取得価額または契約価額、時価および時価損益)

有価証券	該当事項はありません。
金銭の信託	該当事項はありません。

9. 会計監査

当社は、2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書等について、会社法第436条第1項の規定に基づき監査役による監査を受け、それぞれ監査報告書を受領しています。

04-3 経理の状況

当事業年度より、過年度における開業費・創立費および繰延税金資産に関する修正再表示を行っています。

1. 貸借対照表

(単位:千円)

科目	2024年度	2025年度
(資産の部)		
現金及び預貯金	367,882	281,162
普通預金	367,882	281,162
有形固定資産	130	65
その他有形固定資産	130	65
無形固定資産	66,915	54,933
ソフトウェア	66,915	54,933
その他資産	45,849	113,516
前払費用	6,393	7,960
未収入金	28,011	84,865
未収金	1,444	9,690
供託金	10,000	11,000
資産の部合計	480,777	449,677
(負債の部)		
保険契約準備金	18,824	160,300
支払備金	2,090	42,436
責任準備金	16,733	117,864
その他負債	34,560	38,136
未払法人税等	1,871	2,264
未払金	18,954	23,523
未払費用	136	294
預り金	3,917	4,504
賞与引当金	852	1,841
代理店借	8,827	5,648
その他	—	60
負債の部合計	53,384	198,437
(純資産の部)		
資本金	352,500	427,500
資本剰余金	342,500	417,500
資本準備金	342,500	417,500
利益剰余金	△267,607	△593,759
その他利益剰余金	△267,607	△593,759

繰越利益剰余金	△267,607	△593,759
株主資本合計	427,392	251,240
純資産の部合計	427,392	251,240
負債及び純資産の部合計	480,777	449,677

2. 損益計算書

(単位: 千円)

科目	2024年度	2025年度
経常収益	28,802	601,572
保険料等収入(保険料)	28,551	600,625
保険料	28,551	600,625
資産運用収益	251	578
利息及び配当金等収入	251	578
その他収益	—	368
雑収入	—	368
経常費用	213,239	927,435
保険金等支払金	1,107	288,758
保険金	1,107	283,690
解約返戻金	—	5,041
その他返戻金	—	25
責任準備金等繰入額	18,824	141,476
支払備金繰入額	2,090	40,345
責任準備金繰入額	16,733	101,130
事業費	193,055	497,200
営業費及び一般管理費	186,739	479,983
税金	3,943	3,079
減価償却	2,372	14,137
その他経常費用	250	0
支払利息	250	0
経常利益(△は損失)	△184,435	△325,862
税引前当期純利益(△は損失)	△184,435	△325,862
法人税及び住民税	328	290
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	328	290
当期純利益(△は損失)	△184,764	△326,152

3. キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	2024年度	2025年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益(△は損失)	△184,436	△325,862
減価償却費	2,373	14,137
支払備金の増加額(△は減少)	2,091	40,275
責任準備金の増加額(△は減少)	16,733	101,201
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	494	988
利息及び配当金等収入	△251	△578
支払利息	251	—
代理店貸の増加額(△は増加)	—	—
未収保険料の増加額(△は増加)	△28,010	△56,854
その他資産(△は増加)	△7,215	△9,812
代理店借の増加額(△は減少)	8,827	△3,178
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連)	19,024	5,374
その他	2,921	481
小計	△111,518	△233,828
利息及び配当金等の受取額	251	490
利息の支払額	△251	—
その他	—	—
法人税等の支払額	△4,345	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	△115,862	△233,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△195	—
無形固定資産の取得による支出	△47,361	△2,090
繰延資産の取得による支出	△55,682	—
その他	△10,000	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,238	△3,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	110,000	150,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	110,000	150,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△119,100	△86,719
現金及び現金同等物期の首残高	486,982	367,882
現金及び現金同等物の期末残高	367,882	281,162

4. 個別注記(2025年度)

(1)重要な会計方針に係る事項

固定資産の減価償却の方法:有形固定資産は定率法(一括償却資産は3年均等償却)、無形固定資産は定額法(ソフトウェアは5年)を採用しています。

賞与引当金:従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に属する額を計上しています。

(2)会計上の誤謬の訂正に関する注記

開業費・創立費は発生時費用処理、繰延税金資産は回収可能性を保守的に見直した結果、過年度における開業費(78,977千円)・創立費(850千円)および繰延税金資産(51,098千円)の合計130,927千円について修正再表示を行っています。

(3)貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額:130千円

関係会社に対する短期金銭債務:428千円

(4)損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引 5,140千円

(5)株主資本変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 16,900株

(6)賃貸等不動産に関する注記

該当なし

(7)税効果会計に関する注記

繰延税金資産の内訳	金額
賞与引当金	532千円
賞与引当金にかかる社会保険	85千円
異常危険準備金	5,416千円
税務上の繰越欠損金	140,959千円
繰延税金資産小計	146,994千円
評価性引当金	△146,994千円
繰延税金資産合計	—

繰延税金負債

該当なし

(8) 関連当事者との取引に関する注記

(単位: 千円)

属性	会社等名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	期末残高
親会社	ペットファーストホールディングス株式会社	(被所有) 98.8%	経営指導及び役員兼務	経営指導料の支払い	5,140	428
親会社の子会社	ペットファースト株式会社	—	保険募集代理店委託契約の締結	募集代理店委託業務に係る委託手数料等の支払	197,222	5,648
			人事、経理、総務等の業務委託	業務委託契約	5,940	385
			事業用事務所賃借	賃料・水道光熱費支払	5,808	484
			動物病院レセプト請求	動物病院窓口清算保険金負担分支払	31,544	—
			その他諸経費の立替	通信費・システム利用等	421	43

(9) 一株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額: 14,866円28銭

1株当たり当期純損失金額: 23,015円48銭

(注) 全体を通して、金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。



ペットファースト&グレイス少額短期保険株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12

カスタマーセンター

0120-202-025

受付時間／10：00～18：00（土日祝・年末年始除く）